

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①学校の教育課程全体で問題解決能力を育み、持続可能な社会の担い手を育成する。 ②「総合的な探究の時間」の研究開発等をとおして、次代に求められる資質・能力・態度を育成する。	①生徒に身に付けさせたい「学力」や「問題解決能力」の育成に向けて、各教科における探究的な学びの実践、その適正な評価の研究を進める。 ②教科内での議論の深化と、教科横断的な「学び」の研究を進める。	①・本校生徒に必要な学習内容を精選し、生徒に身に付けさせたい学力を意識した教科指導を展開する。 ・ICT端末を使用した授業の展開や探究的な学びの実践において、適切な評価の在り方を研究し、共有する。 ②「総合的な探究の時間」を中心に、各教科において課題解決能力を育成する。	①・指導と評価の計画に基づき適切に実践することができたか。 ・ICT端末を用いた授業の在り方と、適切な評価を研究することができたか。 ②・目標に沿った適切な課題設定と探究活動を行うことができたか。 ・「情報収集・分析・考察」を通して、生徒間による相互評価の力を育成できたか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	①学習活動、学校行事、部活動等の活動を通して、自己肯定感と行動力の高い、自主自立した人材を育成する。 ②一人ひとりが豊かな人生を切り拓くために、それぞれの生き方や人としての在り方を学ぶ教育活動を推進する。	①コロナ以前の活気に満ち溢れた学校行事を取り戻すとともに、より良い行事をつくるための方法を検討し、生徒の充実した学習機会を提供する。 ②・人としての「在り方」「生き方」を考えさせる指導を通して、自他を尊重し、人として備えるべき資質を身に付けさせる。 ・教育相談体制の充実を図り、実践を重ねる。	①生徒会本部や委員会等の生徒が中心となり、生徒一人ひとりが輝ける行事の在り方を検討し、協力して実行できる学びの機会とする。 ②・遅刻指導等の日常的な指導を徹底し、道徳観や規範意識を高める。 ・人権研修等を通じ、自尊感情を育み、また多様性を認める意識を醸成する。 ・面談、かながわ子どもサポートドックを通して、多様化する生徒の困り感に組織的に対応する。	①生徒主体の生徒会行事を企画・運営することができたか。(アンケート) ②・遅刻指導対象者を減らすことができたか。 ・道徳観や規範意識を高めることができたか。(人権講話後アンケート) ・面談、かながわ子どもサポートドックを適切に実施し、組織的に対応できたか。					
3	進路指導・支援	①主体的に自分の将来像を描き出し、社会的役割を果たそうとする姿勢の確立を支援する。 ②一人ひとりの進路実現を支える指導と支援の体制構築と効果的な実践を図る。	①望ましい職業観や勤労観を土台にした人としてのキャリア形成を支援する方策を構築する。 ②各教科との連携により、学習指導のあり方を追求するとともに、自ら決断した目標を成し遂げる力を育成する。	①社会の一員として働くことの意義に気づかせ、本校の育てたい人物像として求められる人間力を養うプログラムを策定する。 ②課題設定や解決法を自分で考えさせながら、進路実現に向け、入試対策や学力の定着を図る学習内容を研究し各教科での実践につなげる。	①本校の育てたい人物に求められる人間力を養うプログラムを策定することができたか。 ②生徒の理解度や習熟度を課題、模擬試験等で把握し個別対応ができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①地域資源を活用した教育活動を行い、社会の一員としての資質や意識の向上をめざして、多様な人たちとの係わりの中から生き方を学ぶ機会を拡充する。</p> <p>②ホームページ等による教育活動、教育成果の発信を行い、広報活動の充実を図る。</p>	<p>①学校や地域等との連携・協働を推進し、教育活動の充実を図る。</p> <p>②広報活動の内容としての地域等との連携・協働の方法等を検討し、これらの推進を図る。</p>	<p>①②目標達成のための新たな地域等の連携・協働の方法を模索し、連携可能な事業等を拡充し、教育活動の充実を図る。</p>	<p>①社会の一員としての資質や意識の向上を視野に入れた生き方を学ぶ機会の拡充ができたか。</p> <p>②新たな地域等の連携・協働の方法を模索し、実践できたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①すべての人が学び活躍して、成長を続ける学校づくりを推進する。</p> <p>②将来にわたって、社会的な役割と責任を果たすことができる持続可能な学校づくりに取り組む。</p>	<p>①学校運営のさまざまな機会をとらえて、これからの中の神奈川の教育を担うことができる主体的な職員を育成することをめざす。</p> <p>②生徒と向き合う時間をより多く確保すること及び職員の心身両面の健康維持やワークライフバランス実現のために、学校運営の方法や働き方の改善・改革を推進する。</p>	<p>①校内人権研修や不祥事防止研修などを通じ、知識習得や討論を行うことで個々の職員の資質向上を図る。</p> <p>②各職員が業務の精選・見直しを行い、超過勤務を是正する意識を強く持つ。また、意識的に積極的に定時退院を心がけ、週に1回は実践する。</p>	<p>①個々の職員の資質向上につながる研修の機会の設定ができたか。</p> <p>②職員各自が業務の精選、見直しを通して意識改革を行い、超過勤務を是正できたか。定時退院を積極的に実践できたか。</p>					